

食品安全のためのGAPの取組み

GAP【適正農業規範・農業生産工程管理】とは？



「農業生産現場において、**安全な農産物を生産するための管理のポイント**を整理し、それを実践・記録する取組み」です。

なぜ必要なの？

もし、出荷したものに異物が混入していたり、家族が農作業中にけがをしたら大変です。また、農薬や肥料で河川や地下水が汚染されたら、環境に負担をかけることになります。

- ◎安全な農産物を生産する。 ◎農作業の事故をへらす。
- ◎きれいな田畠や水を子供たちにひきつぐ。

GAPに取り組むことは、問題点を明らかにして、産地としての防止対策を徹底するために必要となります。

GAPを取り組むことによるメリット

- ★的確な安全管理 ⇒ 農産物の安全性確保と産地の信頼性の向上
- ★適正な栽培管理 ⇒ 農産物の品質向上
- ★農作業方法の見直し ⇒ 農作業の効率化や農業経営の改善
- ★農業使用などの記録 ⇒ トレーサビリティシステムや生産情報公表
JAS規格の対応など

GAPの作業手順

事前準備

- ①一般的な生産工程図の作成
- ②生産工程とリスク管理の内容認識
- ③チェックリストの作成
⇒マニュアル21~23ページの項目を実践してみましょう！

実践

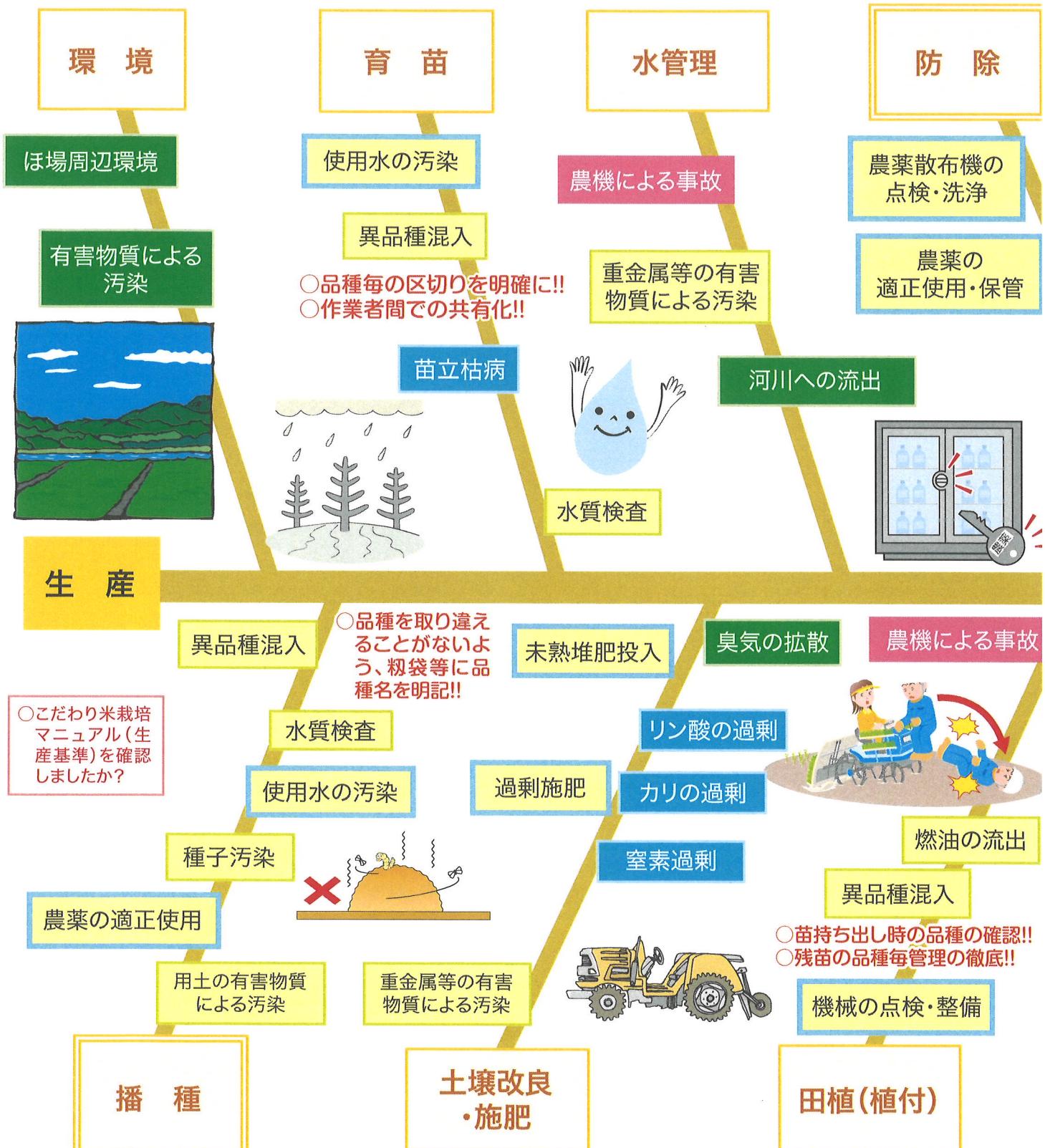
食品安全GAPに沿った実践と効果の検証内容の見直し

※マニュアル28ページ及び裏表紙に作業日と実施者の記録をしておきましょう！

各生産工程の確認!!

- 安全・安心なお米を出荷しましょう。
- 「米は食品」であることを再認識しましょう！
- 食品安全、品質向上、衛生管理、環境保全、労働安全に取り組みましょう。

〈危害要因図〉



- 播種・育苗・田植・収穫・乾燥・調製時の確認不足、農業機械の清掃不足、作業者の認識不足などによる異物・異品種混入を防ぎましょう。
- 「うっかりミス」が大きな損害につながります。充分に注意して収穫、乾燥・調製作業を行いましょう。

